



- 1.患者さんの権利と意思を尊重します。
- 2.地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
- 3.教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

# 群馬県立がんセンターだより

## 第46号

発行：令和3年2月

発行元：群馬県立がんセンター

### GUNMA PREFECTURAL CANCER CENTER NEWS



副院長  
湊 浩一

#### 喫煙について

新年になりましたが、昨年から引き続いて新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。マスクをつけることや密を避けることなどの感染を回避するような行動を続けていただき、感染しないように注意してください。

さて、話は変わりますが、皆さんは新型タバコをご存知でしょうか？加熱式タバコ、電子タバコといわれるものです。

昔からの紙巻きタバコはご存知のように、タバコ葉を紙で巻いたものでタバコ葉を燃やして煙を吸うものです。多くの有害物質が含まれ、がんや慢性疾患を引き起こします。また、この中に含まれるニコチンは依存性を持っており喫煙がやめられなくなっていきます。一方、新型タバコといわれるものには、加熱式タバコと電子タバコがあります。加熱式タバコは、タバコ葉が燃えない温度で熱を加えて出てきたタバコ成分をエアロゾルとして吸い込むようになっています。電子タバコは専用の溶液をセットし（海外ではニコチンを含んだものがありますが日本では認可されていないようです）加熱して発生したエアロゾルを吸い込むものです。

これらのタバコ製品の広告では周りの方に嫌な煙のニオイが届かない、健康懸念物資を排除したなどがうたわれています。しかし、これらの新型タバコにも有害物質は含まれています。加熱式タバコから出るエアロゾルの有害物質を分析したデータがいくつかあります。加熱式タバコと紙巻きタバコを比較したもので、加熱式タバコでは、ニコチンは紙巻きタバコの約23～80%の範囲で含まれていました。その他の有害物質も紙巻きタバコと比較してかなり減っているものから逆により多くなっているものなど様々の程度に含まれていました。有害物質が全く含まれていないということではなく、少なくなっているということで、全く安全ということではありません。煙が出ない、匂いが少ないなどとうたわれても、ある程度の有害物質を吸い込んでいることに違いはありません。

また、電子タバコでは重症の肺障害やけいれんを来した例が報告されています。原因はわかっていますが、こちらも安全とは言えません。

以上から、当院では、紙巻きタバコはもとより、新型タバコも含め、敷地内禁煙ですので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## がんセンターにおける新型コロナウイルス感染症対策 －外来者発熱スクリーニングの取り組み－

技術部長 都丸 健一

向春のご挨拶を申し上げたいところですが、コロナ禍の現在、皆様大変な状況と推察いたします。当センターの新型コロナウイルス感染症対策の一環である発熱スクリーニングについて、備忘録も兼ねてその始まりから現在までの経過を紹介します。

現在世界的なパンデミックとなっている新型コロナウイルス感染症は、2019年12月8日に世界最初の発症例が確認されたとWHOは報告しています。ウイルスが確認されたのが2020年1月14日、そして我が国においては1月16日に中国武漢に渡航した中国籍の男性が最初の発症例とされています。WHOの発表以前にウイルス自体は発見されていたとの報告もありますが定かではありません。1月30日に国際的な緊急事態が宣言されるなか感染した乗客を乗せたクルーズ船が横浜港に入港します。その間にも海外からの旅行者は制限されることなく入国しており、2月13日には初めて日本における感染者死亡が報告されました。多くの方も記憶していることと思いますが、オリンピックの開催問題や臨時休校、タレントの志村けんさんが亡くなるなど初めて経験するウイルスに社会は騒然としていました。4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大され5月25日に全面解除となりました。その後第2波がおこり現在は第3波の真っ只中という状況です。新型コロナウイルスで重症化しやすいのは基礎疾患がある方で、がん治療中の患者さんも含まれる場合があると言われています。そのため、当センターでも新型コロナウイルスの院内感染を防ぐ手立てを講じることになり外来者の発熱スクリーニングを計画しました。2020年4月16日に訓練を行い、患者さんやご家族が発熱していた場合の対応を確認し4月20日より開始しています。医師以外の多くの職種が交代で担当し、当初は玄関外で看護部スタッフが来院目的を確認し、玄関内にて事務局関係スタッフやコメディカルスタッフが非接触型体温計2台で一人一人計測を開始しました。まだ季節柄非常に寒く凍えながらの作業で、試行錯誤を重ねながら進めていったように思います。5月7日からは全身麻酔予定の入院患者さんに対する胸部CTスクリーニングも開始されました。入院患者さんとの面会も禁止となり、ご家族すら病室内に入れなくなりました。患者さん、ご家族にとっては大変辛いことと思います。私も何度か入院経験がありますのでお気持ちお察し

いたします。また入院に必要な荷物の受け渡しもできなくなりましたので、発熱スクリーニングと並行して窓口を設け対応しています。土日休日の退院・荷物対応も当初より継続しています。6月13日に面会が一旦解除されましたが、太田市内でのクラスター発生を受けて8月5日より面会禁止が再開されました。群馬県の「社会経済活動再開に向けたガイドライン」の警戒度も一時は1まで下がりましたが、12月19日から最高警戒度の4となっています（2021年1月20日現在）。群馬県も日本全国でも収束の兆しは見られず、発症数の更新が頻繁となっています。非常に厳しい状況が続いており、通常業務を遂行しながらの発熱スクリーニングはスタッフにそれなりの負担を強いることになっています。6月17日にはサーマルカメラが導入され、放射線科堀越医師のご厚意により大型モニターを使用して来院者の方々にも自分の状態を確認できる形を取りました。本来なら院外にてのスクリーニングが理想ですが4月の寒さから真夏の暑さ、そして現在の厳しい寒さで体調不良を来すスタッフもあり、正面玄関からエントランスでのスクリーニングを1階待合フロアに移動しました。サーマルカメラをメインに非接触型体温計での体温計測およびマスク着用の有無、手指消毒の確認、入院患者さんの荷物の受渡し、退院・面談・オンライン面会受付（11月2日より試行開始）を1階待合にて行っているのが現在です。

まだまだ先の見えない新型コロナウイルスですが、患者さんと職員を守りがん医療を止めないためこれからもスクリーニングは継続していきます。ご不便をおかけいたしますがご理解とご協力を再度お願い申し上げます。コロナ禍前の日常に少しでも早く戻ることを願いながら、今日も明日もスクリーニングは続きます。



# 外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

令和3年1月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	岸 遂 忠		保 坂 尚 志	保 坂 尚 志	岸 遂 忠
		血 液	村 山 佳 予 子 血液内科 (午後新患)	入 沢 寛 之 村 田 直 哉	村 山 佳 予 子 血液内科 (午後新患)	村 山 佳 予 子 村 田 直 哉	入 沢 寛 之 血液内科 (午後新患)
		呼 吸 器	湊 浩 一 (午後/禁煙外来) 呼 吸 器 内 科 (午後新患)	藤 本 栄			呼 吸 器 内 科 (午前新患)
	外科	消 化 器	消化器外科医師 (午前/検診・人間 ドック後の要精密 検査のみ)	消化器外科医師 (午前/検診・人間 ドック後の要精密 検査のみ)	尾 嶋 仁 深 井 康 幸 持 田 泰 小 澤 大 悟 鈴 木 雅 貴	尾 嶋 仁 (新患) 深 井 康 幸 持 田 泰 小 澤 大 悟 鈴 木 雅 貴	尾 嶋 仁 深 井 康 幸 持 田 泰 小 澤 大 悟 鈴 木 雅 貴
		乳 腺	柳 田 康 弘 藤 澤 知 巳 宮 本 健 志 矢 内 恵 子	柳 田 康 弘 藤 澤 知 巳 宮 本 健 志 矢 内 恵 子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳 田 康 弘 宮 本 健 志 (遺伝)
		呼 吸 器			小 野 里 良 一 (午後新患)		小 野 里 良 一 (午後新患) 呼 吸 器 外 科 医 師
		形 成	廣 瀬 太 郎				廣 瀬 太 郎
		骨軟部腫瘍			柳 川 天 志 (午後のみ)	柳 川 天 志	
		(リンパ浮腫)	リンパ治療・指導	リンパ治療・指導	リンパ診断		
		(ストーマ外来)			午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来
第二外来	婦 人 科	中 村 和 人 山 下 宗 一 木 暮 圭 子 小 林 梓	中 村 和 人 山 下 宗 一 木 暮 圭 子 小 林 梓	鹿 沼 達 哉 (第1、3)	中 村 和 人	中 村 和 人 山 下 宗 一 木 暮 圭 子 小 林 梓	
	歯科口腔外科	名 生 邦 彦	新 垣 理 宣	名 生 邦 彦		新 垣 理 宣	
	頭 頸 科				頭 頸 科 医 師 名 生 邦 彦 (午前)	鈴 木 政 美 名 生 邦 彦 (午前)	
	麻 酔 科	麻 酔 科 医 師				麻 酔 科 医 師 (午前/術前診察)	
	泌 尿 器 科	清 水 信 明 蓮 見 勝	清 水 信 明 村 松 和 道		清 水 信 明 蓮 見 勝 村 松 和 道	清 水 信 明 蓮 見 勝	
		泌尿器科医師 (午後/新患のみ)	泌尿器科医師 (午後/新患のみ)				
精 神 腫 瘍 科			村 上 忠				
放射線科	放 射 線	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	
腫瘍内科	腫瘍内科		荒 木 和 浩		荒 木 和 浩		

\*緩和ケア外来の受診を希望される方は“がん相談支援センター”へお問い合わせください。直通電話:0276-60-0679

## 診療予約 \*初診、再診ともに予約制です。

### ●初診紹介予約制について

当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

### ●がん検診について

当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行っております。

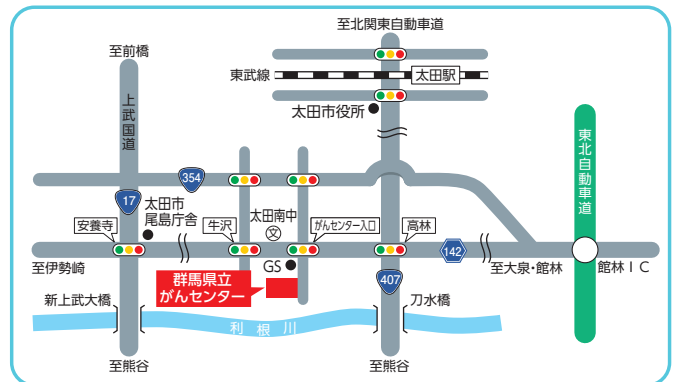
**予約専用電話 0276-38-0762**

電話受付時間/平 日:午前9時~午後5時

土曜日:午前9時~午後1時

※ただし、診療を希望される前日の午後1時までまでに連絡してください。

休診日/土・日曜日、祝日、年末年始



## 群馬県立がんセンター

〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1  
TEL.0276-38-0771 (代) FAX.0276-38-0614

URL <http://www.gunma-cc.jp>